

同社の敷地大に、食店、トマトを栽培し、早期の果

「口腹」

福一不動産社長

古川 隆さん(49)



「中洲で一番」を実現

地域・商品・客層を限定

約1800店のスナック、バーなどの飲食店がひしめく九州最大の歓楽街・福岡市の中洲。「福一不動産」(同市博多区上川端町)は、その飲食店の4分の1に当たる約450店の物件を仲介し、中洲でシェアナンバーワンを獲得している。古川隆社長(49)は「会社を存続させるためには、地域で一番になるしかない」との思いをか

【小原擁】

元知
GENKI・JIN

会社から半怪500。古川社長は「地域・商品・客層を限定する」の会社に入って、社長になったのが97年。当初は県内全域を駆け回って営業した。しかし、コンサルタントなど、さまざまな業種の会社を、売り上げは伸びず、利

社長に、経営理念を聞きに行った。学んだのは、エリアや客層を絞ることの大切さだ。半怪500以内の不動産仲介手数料が年間どれだけになるかを試算すると、約30億円が見込めた。「県で一番にならなくても、その地域で一番を目指せばいい」。目標が具体的に定まり、やる気も出た。98年春のことだ。

生まれは福岡県延岡市。「博多っ子」ではないため、言葉遣いで苦労もあった。しかし、雨の日は取引業者に大量の傘を持って行き、自治会やPTAなどの地域活動にも積極的に参加し、地道に知名度を上げていった。

好きな言葉は「鶏口牛後」。大きな組織で軽んぜられるよりも、小さな組織の長になって重んぜられる方がよい、というこの言葉は、自ら選んだ企業戦略にも通じる。

社長になって14年。中洲かいわいでは、今日も自転車で営業して回る社長の姿があるはずだ。

福岡市内の医師で

る。

パネルに並んだ50

合

通せば拡大して見るこ

えます」と同組合の水